



春に向け、自分たちの実力を試す

11/12 安曇野少年野球交流大会

安曇野少年野球交流大会（豊科野球クラブ保護者会主催）が11月12日、豊科県民グラウンドと豊科北中学校グラウンドで行われました。

同大会は、市内の中学校をはじめ、新潟、富山、山梨県などから8チームが参加して、トーナメント方式で行われました。1・2年生が中心となった新チームの実力を試すとともに、来シーズンに向けて技術を磨く機会として、選手たちは、全力で白球を追いかけ、熱戦を繰り広げました。



安曇野のたまねぎでCM大賞を受賞

12/3 第6回ふるさとCM大賞 NAGANO

ふるさとの魅力を30秒のCMで伝える「ふるさとCM大賞」（長野朝日放送主催）の最終審査会が12月3日、長野市内で行われました。

この日は、県内市町村から応募のあった93作品の中から一次審査を通過した34作品の審査が行われました。安曇野市のあづみのビデオクラブが制作し、安曇野産たまねぎのおいしさをコミカルに描いた「安曇野産たまねぎと韓国ドラマ」が大賞に選ばれました（写真）。また、素人劇団押野一座の作品も上映され、それぞれ安曇野をアピールしました。この模様は、1月8日（火）午後3時30分から放送されます。

変化に富んだコースを楽しむ

11/23 シクロクロスミーティング安曇野大会

自転車のクロスカンントリーといわれるシクロクロスミーティング第3戦安曇野大会が11月23日、明科・自然体験交流センター「せせらぎ」特設コースで行われました。

この日は、県内外の小学生から大人まで約80人が参加し、未舗装の道路や田んぼ、人工障害物など、変化に富んだ約3.1kmのコースを選手たちは、疾走しました。大会は、実力別・年齢別に分かれ、決められた時間内にコースを何周できるかを競い合うもので、選手たちは仲間や家族の声援を受けながら、レースに臨んでいました。



安曇野が生んだ芸術家・萩原碌山の純愛物語

2/3 放送予定ドラマ「碌山の恋」

今年の5月に碌山美術館などを中心に撮影が行われたドラマ「碌山の恋」（TBS系）が2月3日（土）午後2時から全国放映されることが決まりました。

ドラマは、史実をヒントにしたフィクションで、日本の近代彫刻のパイオニアといわれる芸術家・萩原碌山の傑作「女」が誕生するまでの、碌山と相馬黒光の純愛の物語を描いています。また、日本の原風景といわれる安曇野の美しい四季折々の風景も登場します。演出・脚本は、大町市出身の合津直枝さんが担当し、碌山役を若手俳優の平山広行さん、黒光役を水野美紀さんが演じます。



「松本サリン事件」から学ぶ

12/3 安曇野市人権啓発講演会

人権啓発講演会（安曇野市・松本地域人権啓発活動ネットワーク協議会主催）が12月3日、豊科公民館で行われました。

この日は、「松本サリン事件」から学ぶと題し、事件当時、犯人のように扱われ、さまざまな被害を受けた河野義行さんが講演をしました。河野さんは、自身や家族などが受けた報道被害や自白の強要など警察捜査の問題点などを話し、「まだ何もはっきりしないうちに、自分だけでなく、家族や自分にかかわる人たちも排除しようとする世の中はおかしい」と話しました。会場には、約400人が訪れ、河野さんの話に、メモを取るなど熱心に耳を傾けていました。

本格的な冬を迎える安曇野

市内の冬の装い

11月下旬から市内は、徐々に冬の装いを始めました。

国営アルプスあづみの公園のイベント「森の光物語」が12月8日から始まり、冬の夜を彩る約20万球のイルミネーションに、公園を訪れた親子連れなどが酔いしれました。

また、冬の使者ハクチョウたちが今年も飛来し、23回目の冬を過ごしています。7月の豪雨災害の影響が心配されましたが多くのハクチョウがやって来ています。

りんごの晩成種「ふじ」の出荷が最盛期を迎えた11月下旬、三郷のJAあづみ果実中央選果所では、選果と箱詰め作業が行われていました。箱詰めされたりんごは、関東、関西、遠くは九州に向けて出荷されました。

安曇野の冬は、さまざまな表情を見せています。

